

中国

雲南化学肥料工場建設事業(1)(2)(3)



本事業により建設された肥料工場

[借款概要]

承諾額/実行額	14,068百万円 / 14,066百万円
借款契約調印	1990年11月～1993年8月
借款契約条件	金利2.5% / 2.6%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1995年12月～2000年10月

[事業概要]

年間生産量40万トン規模の重過磷酸石灰(TSP)肥料工場を建設することにより、化学肥料の需要増加に対処し、食糧生産性の向上に寄与するもの。

[評価結果]

本事業は、中国の第8次5ヵ年計画(1991-1995)において策定された全国10工場の化学肥料工場(うち6工場が円借款対象)のうち優先度の高い事業として位置づけられたものであり、プラントは計画通りの内容で完成し、1997年6月より商業運転を開始した。しかしながら、市場経済移行に伴う購入電力価格の高騰等により肥料生産の経済性が低下したことから、TSPの生産実績は計画の10%程度という低いレベルに留まっている。

中国全体での食糧生産量と生産性は向上し、中国の政策目標を達成しているが、本事業による磷酸肥料の生産量は少ないため、農産物の生産性向上に係る本事業の貢献度は限定的であったと見られる。

なお、事業実施機関の雲南磷肥工では、本プラントの現行の生産方式より消費電力の少ない湿式磷酸設備に変換することを計画しているが、TSPの市場環境は依然厳しい状況にあるため、今後の動向を注視していく必要がある。